

道 徳 科 学 習 指 導 案

呉市立和庄小学校
教諭 石川 ひとみ

1 日 時 令和元年 12 月 9 日（月） 第 3 校時

2 学 年 第 5 学年 2 組 男子 13 人 女子 13 人 計 26 名

3 主題名 困った人の身になって B【親切、思いやり】

4 ねらい 親切な行為をしたにもかかわらず勘違いされた主人公のむしゃくしゃした気持ちを考えることを通して、相手の立場に立って考えることの大切さに気付く、見知らぬ人に対してもその人の身になって親切に行動する道徳的判断力を育てる。

5 教材名 「くずれ落ちたダンボール箱」【出典：「新しい道徳 5 年」東京書籍】

6 主題設定の理由

- 本主題は、内容項目の B「主として人との関わりに関すること」の（7）「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること」に当たる。また、「防災でつながる道徳学習プログラム」の第 4 時として学習する。

自分のことばかりを考えたり、自分の思いだけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできない。互いが相手に対して思いやりの心をもって接するようにすることが不可欠である。思いやりとは、相手の立場を考えたり相手の気持ちを想像したりすることを通して励ましや援助をすることである。相手のことを親身になって考えようとする態度を育てることが大切である。

本教材は、ショッピングセンターで孫が段ボール箱を崩してしまい、困っているおばあさんのために、友だちと片付ける「わたし」を主人公にした話である。片付けを手伝っていたにもかかわらず、店員の勘違いから叱られてしまう。片付けたことを後悔し、むしゃくしゃした気持ちの「わたし」だったが、冬休み明けの全校朝会で、店員からの謝りの手紙を知り、おばあさんのお礼や店員の謝罪を聞いて心が明るくなったという話である。たとえ、人に認められなくても、相手の立場や気持ちを考え、誰に対しても温かく接することの大切さを考えさせたり、主人公の行為を自分事として考えさせたりするのに適した教材である。

- 高学年の段階においては、自他を客観的に捉えることができるようになってくる。そのため、相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて想像できるようになる。また、地域社会における公共の場所など活動範囲がより一層広がり、より多様な人々と接する機会が多くなってくる。このような時期であるからこそ、相手の立場に立つことを強調し、思いやりの心とそれが伴った親切な行為を、児童が接する全ての人に広げられるように、その大切さを考え、深めるようにしていく必要がある。

本学級の児童は、1 学期に道徳科の授業において、車椅子の乗客が自分の乗っているバスに乗りしてきたという話を題材に、親切や思いやりについて話し合う学習をしている。困っていたら誰に対しても相手の立場に立って親切にすることの大切さについて考えることができた。しかし、生活の場面においては、特定の友だちだけに親切な行為をしたり、自分の都合が悪い時は、見て見ぬふりをしたりする児童も見られる。

- 指導に当たっては、以下の 4 点に留意する。

1 点目は、導入において「防災でつながるシート」のウェビングマップから児童に防災を想起させ、その中からねらいとする価値を取り上げることで、児童の防災に関する課題意識をつなぐようにする。本時では「親切」を取り上げ、本学習プログラムとのつながりを意識できるようにする。

2 点目は、発問を工夫することである。「防災でつながる道徳学習プログラム」では、児童が主体的に行動する態度の育成を目指すことから、道徳的心情から道徳的判断力、さらには道徳的实践意欲と態度をねらう順で構成し、発問においてもそれぞれの諸様相に合った問いになるようにする。本時では、道徳的判断力を問う発問にしていこう。

3 点目は、後半において、「防災でつながるシート」を使い、今日の学習の振り返りを書く活動を設けることである。この「防災でつながるシート」は、道徳科の授業だけでなく、関連させた社会科と特別活動の学級活動においても活用する。そうすることで、単元全体の自己の生き方について考えたことを一度に見ることができ、考えが深まったと実感できるようにする。さらに、自己の生き方についての考えが深まるように、道徳的価値の視点を意識した振り返りをさせる。ここでは、①（今日の授業で）分かったこと（知的理解）、②（授業の中で）いいなと思ったこと（情動的な心の動き）、③自分ができそうなこと、やってみたいこと（実践意欲の向上）の三段階の振り返りの手立てを示す。これらの手立てによって、児童が身近な問題と結び付けて自分との関わりで考えられるように、自己の生き方について考えが段々と深まるようにする。

4点目は、終末に防災に関する説話を取り入れることである。地域で取り組んでおられる防災活動のことを取り上げることで、地域の方の生き方を見つめ、これからの自分の生き方についての思いや課題を培えるようにする。

7 授業計画 「防災でつながる道徳学習プログラム」計7時間 ※本時の位置付け ☐

時	学習計画	ねらい
1	社会科 「わたしたちの生活と環境 自然災害を防ぐ」	我が国の自然災害について関心をもち、世界の自然災害ランキングから日本の自然災害の状況を捉えるとともに、被害を防止する対策があることに気づき、追究する学習問題をつくる。
2	道徳科 主題 かけがえのない生命 D-(19) 生命の尊さ 教材名「コースチャぼうやを救え」【自助・共助】	コースチャぼうやの失われそうな命を救うために協力した多くの人々の気持ちを考えることを通して、生命を救い守り抜こうとする人間の姿の尊さに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。
3	社会科 「わたしたちの生活と環境 自然災害を防ぐ」 【公助】	自然災害（主に地震、津波、土砂災害）の被害を防ぐための国や地方自治体が様々な対策や事業を行っていることを理解する。
4 (本時)	道徳科 主題 困った人の身になって B-(7) 親切、思いやり 教材名「くずれ落ちただんボール箱」【共助】	親切な行為をしたにもかかわらず勘違いされた主人公のむしゃくしゃした気持ちを考えることを通して、相手の立場に立って考えることの大切さに気づき、見知らぬ人に対してもその人の身になって親切に行動する判断力を育てる。
5	社会科 「わたしたちの生活と環境 自然災害を防ぐ」 【自助・共助】	自然災害から身を守るために、地域で行われている共助の取組や防災意識を高めることの大切さについて調べる。
6	道徳科 主題 社会や公共のために役立つ C-(14) 勤労、公共の精神 教材名「わたしのボランティア体験」【共助】	老人ホームでのボランティア活動を体験する中で高齢者に対する見方が変わった主人公の気持ちを考えることを通して、社会に奉仕する喜びに気づき、公共のために役に立とうとする態度を育てる。
7	学級活動 「防災クロスロードゲームをしよう」【自助・共助・公助】	災害時に起こりうる様々な場面において、自分の考えをもち、判断し、異なる意見も取り入れながら適切な行動をとろうとする態度を育てる。

8 学習指導過程

	学習活動	主な発問 (○) と中心発問 (◎) 予想される児童の心の動き (・)	指導上の留意点 (・) 評価の視点 (☆) (評価方法)
導入	1 「防災でつながるシート」とアンケート結果から課題意識をもつ。 (5分間)	○防災ではどんな心が大事なのかを考えましたね。 親切のことを書いていた人が□人いました。 ○地域の人に親切にしたことがありますか。 親切するときに迷ってしまったことがありますか。 親切をするときに大切なことを考えよう。	・事前に「防災でつながるシート」のウェビングマップに書かせ、ねらいとする価値への方向付けをする。 ・アンケート結果から親切にしたいくても迷う心もあることに触れ共感させる。
	2 教材「くずれ落ちただんボール箱」を読む	○「わたし」は、おばあさんの困っている様子を見ながら、どんなことを考えたのでしょうか。 ・このままだと通路が通れなくなる。	・困っている人を目の前にしたときの、心の迷いを捉えるようにする。

展 開	み，話し合う。 (25 分間) 3 自分の生活を振り返る。 (10 分間)	・おばあさん，困っているな。 ・男の子は迷子になっていないかな。 ・片づけを手伝ってあげようか，悩むなあ。 ・誰かが手伝ってあげないのかな。 ○親切な行動をしていたのに，店の人に叱られて，「わたし」はどう思ったでしょう。 ・悪いことなんかしていないのに。 ・手伝わなければよかった。 ◎「わたし」は次に困っている人を見かけたとき，親切にできるでしょうか。また，その理由も考えてみましょう。 【親切にできる】 ・困っている人に親切にすることで，相手の人が喜んでくれるから，親切にできる。 ・親切にしたのに，怒られたけれど，分かってもらえてよかった。 ・親切を分かってもらえなくても，相手のことを思って親切な行動をしていく。 【分からない】 ・お店の人に本当のことが分かってもらえなかったの - で，少し迷うかもしれない。 ・知らない人に親切にするのは勇気がいる。 ・そのときになってみないと分からない。 ○親切にする時に大切なことはどんなことでしょうか。今日の学習を振り返りましょう。 (振り返りの例) ・親切な行動をしたのに誤解されてしまうこともあるのが分かった。(知的理解) ・誰に対しても思いやりは大切だと思った。(知的理解) ・「わたし」のように，誤解されても，困っていたら親切にしようと行動したのがいいなと思った。 (情的な心の動き) ・避難しなければならない時には，小さい子やお年寄りのことも気かけながら，行動できるようにしたい。(実践意欲の向上)	・手伝ってあげようと決心した「わたし」の気持ちに共感させる。 ・よいと思ってしたことが認めてもらえない「わたし」の気持ちを捉えさせる。 ・ワークシートに書いて自分の考えをもたせる。 ・「心のバロメーター」にネームプレート貼り，自分の意思表示をさせる。 ・困っている人を見たら，誰にでも親切にすることが大事であることに気付かせる。 ・「自分だったらどうか。」を問うことで，自分を見つめて考えられるようにする。 ・「防災でつながるシート」に記入させる。 ・防災にも目を向けさせる。 ・道徳的な価値の視点で評価する。 ① (今日の授業で) 分かったこと (知的理解) ② (授業の中で) いいなと思ったこと (情的な心の動き) ③ 自分ができそうなこと，やってみたいこと (実践意欲の向上) ☆誰に対しても相手の立場に立って親切にすることの難しさや大切さを，自分に置き換えて考えたか。(ワークシート，防災でつながるシート)
終 末	4 教師の説話を聞く。(5 分間)	○昨年の豪雨災害では水道水が出なくなり，生活するのに困った人がたくさんいました。そんな中，学校は給水所となり，地域の方々は次々に学校に集まり，給水に来た人の手伝いを進んで行っていました。「困ったときはお互い様」と言われていたのが心に残りました。親切にすることが大切だと考えて行動されたのです。地域の方の行動力は本当にすごいですね。 ○防災でつながるシートのウェビングマップに今日の学習から書き加えたいことを書く。	・豪雨災害で給水のボランティアをしている写真を示し，地域の方の親切な行いに込められた思いについて考えさせる。

9 評価について

視 点	方 法
【自分との関わりで考える】 親切にするときにはどんなことが大切なのかを、自分事として考えたか。	展開前半のワークシート
【自己の生き方についての考えを深める】 親切にするときに大切なことを、自分のこれからの生き方に生かしていこうと考えることができたか。	展開後半の「防災でつながるシート」

10 板書計画

写真

写真

写真

親切にするときに大切なことは・・・

- ・その人の身になって
- ・知らない人にも
- ・小さい子やお年寄りのことを思っ
- ・たとえごかいされても

場面絵

親切にできる

親切にできるか分からない

相手の人が喜んでくれる。
おこられたけど、分かっ
てもらえてよかった。
分かっでもらえなくても、
相手のことを思っ親切な
行動をしていく。

お店の人に分かっでもらえな
かった。
知らない人に親切にするのは
勇気がいる。
その時になってみないと・・・

・悪いことなんかしてないのに。
手伝わなければよかった。

店の人にしかられて

困っているおばあさんを見て

・通路が通れなくなる。
困っているな。
・片付けを手伝っあげようか・・・なやむ。
・だれか手伝っあげないのかな。

場面絵

場面絵

親切にするときに大切なことを考えよう。

親切

くずれ落ちただんボール箱

12/9